令和5年度 第1回嘉麻市障がい者施策推進協議会会議録

日時：令和5年8月2日 14時～14時45分

場所：嘉麻市役所本庁舎5階A会議室

- ◇ 出席委員：会長（藤木委員）・副会長（藤嶋委員）・中村委員・横山委員・西村委員・吉富委員・亀崎委員・大滝委員・池田委員[計9名]
- ◇ 欠席委員：吉田委員、古川委員 [計2名]
- ◇ 傍聴人：なし

【会議次第】

1. 開会あいさつ
2. 自己紹介（委員、事務局職員）
3. 「第7期嘉麻市障がい福祉計画及び第3期嘉麻市障がい児福祉計画」に係る諮問について
4. 議事
「第7期嘉麻市障がい福祉計画及び第3期嘉麻市障がい児福祉計画」策定について
 - (1) 計画策定の背景と趣旨
 - (2) 計画の位置づけ
 - (3) 計画の期間
 - (4) 計画策定の方法
5. その他

1. 開会あいさつ

○事務局よりあいさつ

2. 自己紹介（委員、事務局職員）

○委員及び事務局職員よりあいさつ

3. 「第7期嘉麻市障がい福祉計画及び第3期嘉麻市障がい児福祉計画」に係る諮問について

4. 議事

「第7期嘉麻市障がい福祉計画及び第3期嘉麻市障がい児福祉計画」策定について

- (1) 計画策定の背景と趣旨について
- (2) 計画の位置づけについて
- (3) 計画の期間について
- (4) 計画策定の方法について

○資料「第7期嘉麻市障がい福祉計画・第3期嘉麻市障がい児福祉計画（令和6年度～8年度）計画策定について」に基づき事務局より説明。

○（藤木会長）事務局より説明があったが質問等はないか。

○（藤嶋副会長）嘉麻市は、飯塚市や桂川町と比べて重度訪問介護の国庫負担基準が低い、または古い基準を使っているのではないか。地域生活に移れば、生活介護や居宅介護、重度訪問介護等で支えることになると思う。飯塚市や桂川町は重度訪問介護と生活介護は別枠として設定されているが、嘉麻市はどうなっているか。相談支援専門員の方からの話では嘉麻市はシビアだと以前から評価をされている。基準は各自治体で設定していると思うが、あまりに差異があれば嘉麻市、飯塚市、桂川町で統一していただきたい。同じ福祉圏域ですり合わせをしていただくことで、障がいのある方の地域生活が支えやすくなると思う。

○（事務局）重度訪問介護については、嘉麻市独自の基準を設定しており、国の基準より少し高い。飯塚市や桂川町の基準は把握していないので確認する。生活介護を使ったときの基準に関しては、国の基準により重度訪問介護を使われる方が生活介護を利用した場合にその分時間数が減ることもある。国の基準を確認しつつ、飯塚市や桂川町と話をさせていただきながら決めていきたい。

○（藤嶋副会長）当事者にとって優しい街になるよう、当事者に寄り添った基準にしてほしい。

○（横山委員）親亡き後、障がいのある人がどのように生活していくのか検討してもらいたい。手続きをする時に親がいない方は、誰が代わりに手続するのかということも課題になっている。

○（事務局）本日の資料は数値目標などを抜き出した資料で、親亡き後について触れていないが、現計画の第7章、3「地域生活支援拠点等の整備」に親亡き後について記載している。次期計画の策定にあたっての検討課題とする。

○（会長）他に意見等はないか。

○（委員一同）意見なし。

○（会長）意見等ないため本日の議事は終了とする。

5. その他

○本市における障がい者差別の事象についての報告

○次回スケジュールについて

・（事務局）10月4日（水）14時から、5A会議室で行う予定。

6. 閉会